

フォトコレinひろさき

市内各地で行われた
イベントや
まちの話題を
お届けします。



左から斎藤若菜さん、佐藤あゆみさん、工藤彩華さん



4月 13日

第30回弘前城ミス桜コンテスト

4月13日、弘前文化センター（下白銀町）で「第30回弘前城ミス桜コンテスト」が開催され、書類審査を通過した16人のうち14人が最終審査に臨み、桜や弘前に対する思いを自己PRに交えながら発表しました。審査の結果、ミス桜グランプリには佐藤あゆみさん（青森市）が輝き、ミス桜には斎藤若菜さん（弘前市）と工藤彩華さん（田舎館村）が選ばれました。グランプリの佐藤さんは「フェイスブックなどで情報を発信して、多くの人が弘前に来てもらえるようPRしたいです」と抱負を語っていました。

4月 1日

城北公園交通広場がオープン

4月1日、城北公園交通広場（田町3丁目）が今シーズンの営業をスタートさせました。この日は、オープンを心待ちにしていた多くの子どもたちや家族連れが来園し、ゴーカートなどに乗って遊びながら楽しく交通ルールを学んでいました。なお、開園は10月31日まで、ゴーカート・ミニ列車は土・日曜日、祝日、夏休み期間中の運行となります。



4月 5日

市立博物館リニューアルオープン

昨年1月から改修工事のため休館していた市立博物館が、4月5日にリニューアルオープンしました。当日は関係者や市民、船沢小学校の児童らが式典に参加。テープカットの後、学芸員による展示物や新しくなった設備の説明などが行われ、訪れた市民らは生まれ変わった博物館を堪能していました。なお、オープン記念展「大名家の美術」は5月11日までの開催です。



もっと②弘前!!

-さくらまつりの裏側徹底取材!-

ひろレポでは今回、全国でも有名な弘前公園のさくらまつりの裏側を取材してきました！

毎年見事な花を咲かせる弘前公園の桜は、市公園緑地課の職員の皆さんによって日々管理されています。この管理作業の様子を見学し、管理方法について樹木医の小林さんにインタビューを行ってきました(^^)

◎一連の作業の流れ◎



せん定は最も重要な作業

毎年、雪灯籠まつりが終わるころ（2月中旬）から、せん定作業が始まります。その年の桜の見栄えを左右する作業なだけに熟練の技が問われます。その後薬剤散布し、さくらまつりを迎えると、新しい根を伸ばしやすくするために土壤改良し、肥料をまき、再度薬剤散布します。この流れを毎年繰り返すことによって、見事な花を咲かすのです。

◎樹木医の小林さんにインタビュー!!

“桜守”として知られる小林勝さんは、日本一の桜管理技術の継承・研究などを行っています。

「枝垂（しだれ）桜が折れてしまったときはショックだったが、手当てをすることで少し元気になり安心した」と述べる小林さん。

今後は、市の職員で樹木医になりたい人がでてきたので、後継者を作るために、観光資源である桜専門の管理チームを市で結成することでした。

最後に小林さんは「弘前公園はソメイヨシノが主体。古木が多いから良い花を咲かせてくれる。だから、この桜を見てほしい！日本一の手入れをしているので、花の多さで日本一です！」と話していました。



公園緑地課にて。インタビューは終始和やかな雰囲気で行われました。



◇取材を終えて◇

今回の取材を通して、さくらまつりに向けてのせん定作業だけでなく、松の木の手入れや鳥に花芽を食べられないよう花火を飛ばすなどの工夫に驚きました。まるで子育てをするように、どの季節も気を配って管理している小林さんは優しい笑顔を見させてくれました。今年も日本一の桜を見にぜひ弘前公園に足を運んでみてくださいね♪

ひろレポとは…若者目線で弘前のことを伝えようと発足された、広報ひろさきで学生企画コーナーを担当する女子大学生グループです。問い合わせやご意見・ご感想はEメール (hiro.repo@gmail.com) で。Facebook (<http://www.facebook.com/hiro.reporters>)、Twitter (@HiroRepo) もやってます！興味のある人はどうぞ (^^*)